

報道関係者各位

2026年2月19日
株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

堺市×アイ・グリッド・ソリューションズ共催
自治体・民間企業の連携で、再エネ適地不足を成長戦略に転換する仕組みを紹介
「地域脱炭素共創カンファレンス」を開催

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：秋田 智一、以下「アイ・グリッド」）は、2026年3月19日（木）に、堺市と共同で地域脱炭素共創カンファレンスを開催します。



2050年の脱炭素社会実現に向け、再エネの導入が各地で加速しています。しかし、国土の約3分の2が森林の日本において、景観保護への配慮も重なり、再エネ導入適地の不足が、大きな課題となっています。本カンファレンスでは、堺市、アイ・グリッドの他、環境省や地元企業などが一堂に会し、再エネ導入の適地不足という制約を、いかにして地域成長戦略へと転換させているのか、再エネ地産地消モデルの具体的なスキームや実例を、経済合理性の視点も含めて詳しくお伝えします。

■ 開催概要

日時：3月19日（木）13時30分～15時30分 予定（開場：13時）

会場：フェニーチェ堺 多目的室（堺市堺区翁橋町2-1-1）

※オンラインで同時開催 ※現地会場は、定員50名（事前申込制・先着順）

プレゼンテーションテーマ・登壇者（予定）：※敬称略

基調講演

テーマ『地域脱炭素の展開に向けて』

登壇者：環境省 近畿地方環境事務所 地域脱炭素創生室長 鈴木 啓太

自治体講演

テーマ『企業と市が再エネ電力をシェア！企業価値を高める新たな地産地消モデル 一堺エネルギー』

地産地消プロジェクトの取組一』

登壇者：堺市 環境局 カーボンニュートラル推進部 脱炭素先行地域推進室 参事 曾和 朋弘

企業講演①

テーマ『サカイ引越センターの脱炭素の取組について』（仮）

登壇者：株式会社サカイ引越センター ※発表者は調整中

企業講演②

テーマ『堺の再エネ循環を担う、地元企業としての役割と挑戦』

登壇者：株式会社エイワット 常務取締役 柴田 泰利

企業講演③

テーマ『「余剰」を「資産」へ。AIによる再エネアグリが加速させる、堺の地産地消戦略』

登壇者：株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ 執行役員 / DX 推進部長 岩崎 哲

主催：堺市、株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

後援：環境省 近畿地方環境事務所

お申し込みやプレゼンテーション内容等、詳細は専用ページにてご確認ください。

[>>地域脱炭素共創カンファレンス — 自治体・民間企業連携で価値を生む！地産地消で構築する堺発の新しい再エネのかたち](#)

■ アイ・グリッドについて

アイ・グリッドは、分散再エネをフィジカル×デジタルの融合で集約・循環させ、日本各地の GX を推進するプラットフォーマーです。企業や自治体の再エネ自給率を最大化する GX ソリューション事業、余剰再エネを循環・供給するエナジートレーディング事業を営み、PPA サービスではこれまでに累計 1,325 施設・発電容量約 331MW（2026 年 1 月末現在）の太陽光発電所を開発し、脱炭素社会実現に向け努めてまいりました。「変化より、はやく」をスローガンに、グリーンエネルギーが地域をめぐるサステナブルな世界の実現をめざしていきます。

【アイ・グリッド・ソリューションズの概要】

社名：株式会社 アイ・グリッド・ソリューションズ

本社所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目 4 番 7 号 T-LITE 15F

代表者：代表取締役社長 秋田 智一

資本金：4,996 百万円（2025 年 6 月末現在）※資本剰余金含む

従業員：131 名（2025 年 6 月末現在）

設立：2004 年 2 月

コーポレートサイト：<https://igrid.co.jp/>

サービスサイト「iGRID GX Solution」：<https://igrid.co.jp/gx/>

オウンドメディア「グリラボ」：<https://igrid.co.jp/gurilabo/>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

担当：渡辺 TEL：080-2458-2958 mail：pr@igrid.co.jp